

2023年9月28日
西日本旅客鉄道株式会社

第4種踏切における『踏切ゲート-Lite』の展開について

当社では、リスクの高い第4種踏切への安全対策を加速させるため、2021年度より整備を進めている『踏切ゲート』と同等の一旦停止効果が期待でき、かつ施工性を向上させた『踏切ゲート-Lite』を開発しました。今後は、『踏切ゲート』と合わせて、『踏切ゲート-Lite』を展開してまいります。

1. 踏切ゲート-Liteのねらい

歩行者等が通行する第4種踏切において、通行者を物理的に一旦停止させることで左右確認を促し、直前横断による踏切障害事故を防ぐこと。さらには、材料を軽量化し、施工時間を短縮させることで、施策の迅速化を図ること。

※歩行者等：歩行者および自転車、二輪車

設置イメージ図



2. 踏切ゲート-Liteの主な特徴

- 〈常時遮断式〉 通行者の踏切横断時のみ開閉
- 〈半自動式〉 遮断桿の操作後は自動的に元位置に戻る
- 〈通行方法〉 踏切進入時には上に持ち上げて通行
踏切退出時には前に押して通行
または上に持ち上げて通行
- 〈設置位置〉 踏切一旦停止線付近に設置

3. 導入計画

第4種踏切が多く残存する中国地方を中心に、2025年度末までに約220箇所へ『踏切ゲート』及び『踏切ゲート-Lite』を整備していく。

表. エリア別の整備予定数

(単位：箇所)

		北陸地方	近畿地方	中国地方
整備予定数	踏切ゲート	2	1	55
	踏切ゲート-Lite	約20	約10	約130
第4種踏切数		27	21	330

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

